

会報

秋

No.171

2015.10

一般社団法人北海道電業協会



目 次

就任ご挨拶	1 ~ 3
室蘭電業協会	会長 高 井 智 志
札幌日信電子(株)	代表取締役社長 宍 戸 謙 二
(株)協和エクシオ北海道支店	執行役員支店長 吉 原 正 史
(株)きんでん北海道支社	執行役員支社長 佐 藤 友 昭
(株)トーエネック北海道支社	支社長 加 藤 祐 一
平成27年度 北海道の建築工事に係る合同研修会	4
札幌市都市局との意見交換会	5
平成27年度 札幌市電気設備施工研修会	6
平成27年度 安全大会	7
ーシリーズー 1 / 212だより	
人が輝き人と自然がひびき合うまち～旭川～	
旭川市長 西 川 将 人	8 ~ 9
技術系学校の先生との懇談会	10
技術系学校生徒との現場見学会	11
ーシリーズー「私のいちおし」	
拓北電業(株) 代表取締役社長 鈴 木 暁 彦	12
厚生委員会行事報告	
野球部会 (ソフトボール)	13
ボウリング部会	14 ~ 15
ゴルフ部会	16
業界だより・理事会・三役会・委員会報告	17 ~ 18
事務局日誌	19
編集後記	

就任ご挨拶



室蘭電業協会
会長

高井 智志

この度、4月の室蘭電業協会総会において、会長職に就任いたしました、大伸電設株式会社の高井智志で

ございます。

歴代会長の業績を鑑みると、その責任の重さを痛感している処でございます。長きにわたり、室蘭電業協会は、会長及び会員の皆様方の努力と協力の上で、発展してまいりました。

現在、当協会の会員は西胆振地方をエリアとし、20社で構成されております。その中には登別電業協会と伊達電設協会が所属しており、役員として協会の運営にご協力いただいております。

さて、昨今の社会情勢においては、安全・安心

と良質な生活を求めています。室蘭電業協会におきましても、常に顧客のニーズに合った安全と安心、高品質を提供するように目指し、努力したいと思っております。

また、協会内での品質向上、技術者育成と技能レベルの向上に誠意努力してまいりますと共に、次世代の技術者の確保に繋がりますよう、微力ながら英知、努力したいと思っております。

また、関係発注機関・関係団体等の意見交換会等に積極的に参加いたしまして、電気業界の実情を説明し、理解して頂いております。あわせて各団体の実情と指導等をいただき、その時代に適した体制を構築しますとともに地域社会に貢献できる組織になるよう取り組んでまいり所存であります。

最後になりますが、北海道電業協会並びに会員の皆様のますますのご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



札幌日信電子(株)
代表取締役社長

宍戸 謙二

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ご挨拶が遅くなり恐縮でございますが、私は今年6月に荒川正一の後任として代表取締役社長に就任いたしました宍戸謙二でございます。

平素は、当協会ならびに会員企業の皆様にたいへんお世話になり、心より厚く御礼申し上げます。私個人は電気工事の事業実績は少なく、知識と経験が大きく不足しておりますが、会員皆様のご指導を頂きながら、当協会ならびに電気工事業界発展のため一所懸命努力いたす所存でございますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は、昭和45年創業のまだまだ若輩の企業でございます。当初は札幌市地下鉄の電気設備保守を専業としておりましたが、20年前から電気工事業を創め、当協会には平成16年より加入させていただいております。

従業員100人規模の小さな企業でございますが、「安全と信頼」を企業理念に掲げた事業経営に努めており、堅実とチャレンジが絶妙な配分で混在する社員が多く育つことを夢見ております。

特に近年は地域貢献にも力を入れております。これは仕事をさせていただいております地元地域に恩返しをすることも一因ですが、若い社員が地域貢献を通して我が社と自分の仕事に誇りが持てることをも期待しております。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。



(株)協和エクシオ北海道支店
執行役員支店長

吉原 正史

残暑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、6月23日付で、前支店長 林 誠の後任として就任いたしました吉原正史でございます。

平素は当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。若輩者ではありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら、協会並びに業界の発展の為に微力ながら最善を尽くす所存でありますので、前任者同様よろしくお願い致します。

当社は、昭和29年に創業し、情報通信に関わる設備の企画・設計から施工・保守までの一貫したサービスを提供しており、現在ではICT・ソフト開発など、さまざまなソリューション・サービスの提供も行っています。



(株)きんでん北海道支社
執行役員支社長

佐藤 友昭

秋麗の候、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、6月24日付で前支社長岡竹俊和の後任として北海道支社長に就任いたしました佐藤友昭でございます。

平素は、当協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。経験不足な面はありますが、会員の皆様にご指導、ご鞭撻を頂きながら協会並びに業界の発展のために微力ながら最善を尽くす所存でございますので、前任者同様宜しくお願いいたします。

当社は、昭和19年に設立し、昭和41年に札幌営業所を開設、昭和45年より北海道支社となり、その後苫小牧、函館、帯広、旭川に営業所を構え道内全域に渡り営業展開しております。経営の基本方針として、「電力会社から受注した配電工事を施

当社の社名である「エクシオ」は、ラテン語で「自らの殻を破り、常に外向きに挑戦する決意」を表しています。この社名の意味を再認識し、付加価値の高いトータルICTソリューションをグループ一体となって提供することで、豊かな生活環境を創り出す企業として地域社会に貢献してまいります。

北海道は私にとって思い出の地です。学生時代の寝袋を抱えての北海道横断旅行、1年少しではありますが35年前の釧路での勤務、結婚10周年記念での家族旅行等を通じ、その雄大な自然と豊かな食とそして温かい風土に大いに魅了されました。この度その憧れの地で勤務できますことは望外の喜びであります。

厳しい環境下ではありますが、少しでも地域の発展に貢献できますよう最大限取り組む所存でありますので、皆様のご指導の程よろしくお願いいたします。

最後になりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念して、新任の挨拶とさせていただきます。

工し電力の安定供給の一翼を担うという、電気工事の公共性に鑑み設立された会社である」との創業時の社会的意義を基盤に置くとともに、絶えず変化する社会におきまして、常に未来を志向した企業家精神の発揮により、優れた設備とサービスの創造に努め、社会への貢献と「エネルギー」「環境」「情報」を三本柱とする総合設備工事会社としての事業の発展を目指しています。

建設業界を取り巻く環境は非常に厳しく、資材の高騰や技術社員・作業員不足、並びに少子高齢化等、私達を取り巻く環境の変化をしっかりと認識し、知恵を出し努力することが不可欠と思っています。

私事ではありますが、北海道滝川市で生まれ育ち、入社後33年間の関東地区勤務から北海道へ単身赴任でやってまいりました。札幌を中心とした開発は進められているものの、地方の過疎化も進んでいることを実感しました。その中で道内全域の発展に貢献出来るよう取り組んでいく所存です。

最後になりますが、当協会の益々の発展と会員皆様方のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



(株)トーエネック北海道支社
支社長

加藤 祐一

秋風が身にしむ今日この頃、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は協会、並びに会員の皆様には格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて私、7月1日付で前支社長深田哲の後任として北海道支社長に就任いたしました加藤祐一でございます。

今までは主に現場業務に従事しておりましたので営業に関しましては若輩者ではありますが、北海道電業協会の発展のため邁進努力致しますので、前任者同様、引き続きのご指導、ご鞭撻の程

をよろしくお願い申し上げます。

弊社は昭和19年10月1日に東海電気工事株式会社として創業致し、平成元年10月1日から「株式会社トーエネック」と社名を改めましたが、この社名には『21世紀に向けて (TO)、エネルギー (ENERGY) 利用の革新技術 (ENGINEERING) をもって快適環境を創造 (CREATE) する企業をめざす』という理念が込められています。

現在、建設業界は東京オリンピックの開催へ向けて活況ではありますが、北海道においてもこれから経済環境が改善し、更なる向上を目指すことを願い、微力ではありますが当社の安全かつ革新技術をもって快適環境を創造し地域の発展に貢献できますよう尽力したいと思います。

最後になりましたが、当協会の益々のご発展と併せて会員の皆様のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

『2015年10月1～2日 日本電設工業協会会員大会』は
無事にすべての予定を終える事ができました。
開催にあたり、ご協力いただきました会員関係者の
ご協力に対しまして誠にありがとうございました！

(一社) 北海道電業協会会長

(一社) 日本電設工業協会北海道支部支部長 大房 孝宏

平成27年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



平成27年7月31日(金)ビルメンテナンス会館において、当協会と北海道電気工事業工業組合、(一社)北海道空調衛生工事業協会(道空衛)、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成27年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催し全道から4団体役員等、約80名が出席した。

開会に当たり道空衛の池田会長と建築整備課の武田担当課長があいさつ。

武田課長は2015年度の発注状況や今後の予定を示し「順調に推移しており、今後も適正な発注を心掛ける」と述べた。

引き続き建築局の担当者から①入札契約制度に関して計画管理課管理契約Gの木田豊主査より「27・28年度競争入札参加資格などを解説。入契法の改正では従来二百万円となっていた施工体制台帳の作成・提出下限が撤廃となったほか同台帳に外国人建設労働者等の従事の有無が追加となったこと等を示した」②26年度工事成績評定結果について建築保全課建築技術Gの土師武久主査が「26年度の工事成績評定平均点は電気78.4点、機械77.6点だった」と報告。また、これまで出納局が所管していた本庁舎等の営繕工事や一千万円未満の小規模工事等を建築局に建築保全課を新設し業務を実施するとした。

この後、主催者側から「分離発注の継続のお願い」と、安定的な人材確保や育成、処遇改善や職場環境の整備ができるよう「安定的な工事量の確保」を要望。

これに対して「分離発注については確実な施工

責任体制、良質な品質確保のため従前から実施しており今後も継続する」また工事量確保では「建築局は工事予算を要求する部局ではなく、工事量確保という立場にはないとしつつ、建築物のストックマネジメントと本庁舎等の修繕業務を一元化し、同施設の長期保全計画や修繕工事に主体的にかかわることとなったとして、今後とも工事量の確保に努めたい」と回答をいただき有意義な研修会を終えた。



北海道建設部幹部の皆さん

研修会次第

1. 開会挨拶 (一社)北海道空調衛生工事業協会
会長 池田 薫
2. ご挨拶 北海道建設部建築局建築整備課
設備・環境担当課長 武田 充光 様
3. 研修内容
(1)総合評価方式について
(2)工事評定結果について
(3)要望・質疑応答
4. 閉会挨拶 北海道電気工事業工業組合
副理事長 花和 嘉貴

札幌市都市局との意見交換会



平成27年8月5日(水)北海道設備会館において当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催で、札幌市都市局幹部の方々のご出席をいただき、意見交換会を開催した。

両協会からそれぞれ会長、副会長、理事ら合わせて25名が参加し、札幌市都市局建築部からは佐藤之則設備担当部長、中村範仁電気設備課長、平野毅人機械設備課長が出席された。

札幌市からの情報提供として、2014年度全体で機械22件、電気19件に上った不調件数が今年度7月末では機械4件電気3件にとどまり、減少傾向にあることを報告。今春創設した総合評価方式のうち、設備関連で未実施の人材育成型については、業界の現状を把握し、早ければ2016年度から実施する方針を示した。

両協会からは①「分離発注の継続」②「安定的な工事量の確保」③「発注の平準化」の3点について要望。

札幌市都市局から①について「効率的な執行、競争性を阻害しない範囲で地元企業の受注機会の確保に配慮しており、特に電気・機械設備は専門的な知識が必要とされることから分離発注を継続

する。」②について「市有施設の長寿命化を目的とした保全推進事業を20年度から実施し、年々事業量を拡大、今後も冬季オリンピックや政令市移行契機に整備した長寿命化や建替を計画しており、事業量は継続していくものと考えている。」③について「前年度設計を行うなど可能な限り早期発注に努める。また学校建築は規模によって単年度を2ヶ年工事に変更、また夏休み施工が多い学校関係は工事内容を考慮しながら冬休みに施工するなどの対応としている」と考慮していることを示した。

【意見交換会の議事次第】

1. 札幌市からの情報提供
 - (1)札幌市の事業動向と今後の見通し
 - (2)入札契約制度
 - (3)その他
2. 要望事項について
 - (1)分離発注の継続について
 - (2)安定的な工事量の確保について
 - (3)発注の平準化について

平成27年度 札幌市電気設備施工研修会



平成27年7月21日(火)北海道電気会館において、当協会と(社)札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約140名が参加した。今回で32回目となるこの研修会は、札幌市から担当者を招き、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明を受け今後の施工技術向上などに役立てている。

はじめに主催者を代表して当協会の小川孝樹専務理事から「節電ニーズへの対応など幅広い役割を果たしていくため、この講習を役立ててほしい」と呼びかけた。

札幌市都市局建築部の中村範仁電気設備課長から、今後の電気設備関連工事発注予定として、月寒団地や発寒団地の建替えなどを紹介した。

この後、市側が2014年度の工事成績について、電気設備工事の平均点は前年度に比べ0.6ポイントアップ。受注者自己評価の取り組みに関して「現場代理人と工事主任の評価に対する認識がほぼ一致している」とし、制度の目的が広く浸透しつつあると伝えた。

引き続き会員から事前に寄せられた質問・要望の13項目には、電気設備課と工事監理室が分担して応じ互いの認識共有を図った。

最後に(社)札幌電設業協会的小林勇治技術委員長から「工事施工などの留意点について講師の皆様より詳細な解説をいただいた事に対する謝意



ご挨拶 中村電気設備課長

を表し」閉会挨拶とした。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話
2. 電気設備工事の工事成績表及び自己評価について
3. 電気設備工事に関する留意事項について
4. 会員からの質問・要望事項に関する回答
5. その他

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長 中村 範仁 様

電気一係長 太田 雅之 様

電気二係長 中里 聡 様

札幌市財政局工事管理室技術管理課

電気検査担当係長 橋本 泰 様

〃 立川 知之 様

平成27年度 安全大会



平成27年度安全大会は、(一社)札幌電設業協会と共催で6月24日(水)午後1時30分より北海道電気会館において開催された。

本年も「**危険見つけてみんなで改善 意識高めて安全職場**」をスローガンに6月1日(月)～30日(火)までを準備期間、7月1日(水)～7日(火)の間で全国安全週間が実施される。

当日は、両会員企業の経営者をはじめ、現場監理技術者まで160名が参加した。

開会の挨拶で(一社)札幌電設業協会の加藤定義副会長から「建設業における平成26年度の死亡者数は前年度に比べ1割を超える増加となっている。また、重大災害の約40%は墜落・転落災害が占めている。これから高温多湿となるきびしい作業環境にあって、現場ではコミュニケーションを密にとり、不安全行動やヒューマンエラーを防ぐことが災害発生防止の有効な手段である。

これから本格的な工事施工時期を迎えることとなるが、業界全体を支える働く方々の安全・安心と労働環境の確保を図っていくことが何より重

要。是非とも労使一体となって安全活動への取り組みをお願いしたい」と参加者全員に積極的な災害防止活動を訴えた。

安全講話では、札幌市都市局建築部電気設備課の中村範仁課長から、市内の平成26年度事故発生事例とその原因および再発防止対策などの紹介があり「事故を防ぐには会社全体で安全意識を高める事が最も有効」と会社一丸となった安全対策を求めた。

引き続き、北海道警察本部交通部交通企画課の木下清人課長補佐から交通安全のポイントなどについてを、具体的な事例を交えて解説がされた。

閉会の挨拶で、当協会の小川孝樹専務理事から「安全な職場環境を作ることは電設業は労働災害のない安心して働ける職種となり、若者の雇用にも繋がると思っている。今年のスローガンを経営者と現場が一体となって実践し、安全体制の確立に努めて欲しい」と力強く呼びかけた。



(安全講話) 中村電気設備課長



(交通安全講話) 木下課長補佐



人が輝き 人と自然がひびき合うまち～旭川

旭川市長 西川 将人



旭川の街並みと大雪山連峰

■まちの概要

北海道のほぼ中央、大雪山連峰に抱かれるように広がる旭川市は、市内を多くの川が流れ、豊かな自然に恵まれたまちです。

人口約35万人の北海道第2の都市として、充実した都市機能が整備されている一方で、郊外には田園地帯が広がり、都市と自然が美しく調和した景観をつくり出しています。

■伝えるのは、命～旭山動物園

日本最北の旭山動物園は、国内外から多くの人々が訪れています。その特徴は、動物が本来持つ能力や生態を見せる「行動展示」。ダイナミックに水中を動き回るカバや筒型のマリノウエイを泳ぐアザラシ、360度見渡せる水中トンネルを飛ぶように泳ぐペンギンたちを、ぜひご覧ください。動物たちの生き生きとした姿は、私たちに全ての命の大切さを教えてくれます。



カバの旭子あきこ（旭山動物園）

■世界の舞台で注目を集める～旭川家具

全国有数の家具産地の1つに数えられる旭川。「デザイン性の追求」が産地としての長です。良質な素材と高度な技術に、美しいデザインと高い機能が加わることで、使いやすく、長く愛される家具が生み出されています。

1990年から3年おきに開催している「IFDA 国際家具デザインフェア旭川」は、優れたデザインを競う場として注目を集めるとともに、地元のデザイナーと世界各国のデザイナーの国際交流の場になっています。また、技能五輪国際大会の家具部門には、5大会連続で旭川から日本代表を輩出しています。



旭川家具センター

「旭川家具センター」には、旭川地域の家具メーカーの多様な製品が一堂に集まり、季節ごとに展示会やイベントが開催されます。

■全国ブランド～旭川ラーメン

全国に名を知られた「旭川ラーメン」は、北海道遺産にも選定されています。市内には200を超える専門店があり、各店が切磋琢磨して独自の味を提供しています。



「あさひかわラーメン村」では、各店自慢のラーメンを一度に味わい、おみやげにもできます。旭川を代表する夏の「さんろくまつり」の「ラーメンフェスティバル」では、ラーメンの食べ比べができます。

■まちなかに新たな魅力～北彩都ガーデン

今年7月に全面オープンした「あさひかわ北彩都ガーデン」は、旭川駅の南側、まちの中心部にある全国でも珍しい立地のガーデンです。忠別川が傍らを流れる中、橋や山を眺めながら花に囲まれて過ごせる、癒しの空間です。



あさひかわ北彩都ガーデン

ほかにも「夕焼けに映し出される旭橋」や「市民憩いの場 常磐公園」など「旭川八景」に選定されている美しい景観が、まちに潤いを与えています。

■旭川を彩るイベント



旭川冬まつり

来年2月で57回目を数えるのは「旭川冬まつり」です。石狩川旭橋河畔会場にできる大雪像に

は巨大な滑り台が設置されます。平和通買物公園会場では、世界各地の氷彫刻家が40時間で氷像を彫り上げる「氷彫刻世界大会」を同時開催。

3月にはクロスカントリースキーの祭典「バーサーロペットジャパン」が行われます。富沢クロスカントリースキーコースでクロスカントリー競技が行われるほか、北彩都コースでは、歩くスキーを幼児から高齢者までが、それぞれのペースで楽しめます。



バーサーロペットジャパン

毎年9月に開催の「北の恵み 食べマルシェ」。旭川をはじめ、北・北海道各地の自慢料理やご当地グルメの屋台が立ち並びます。2014年にオープンしたJR旭川駅前広場から買物公園、常磐公園へと続く市内中心部1.7kmの巨大市場で豊かな「食」の魅力をおなかいっぱい楽しんでください。

6月には約4,000人がまちをパレードする「北海道音楽大行進」、7月には「旭川夏まつり」など、楽しいイベントが盛りだくさんです。

■みんなの人気者 あさっぴーとゆっきりん

旭川をこよなく愛する人気者「あさっぴー」と、その幼なじみの「ゆっきりん」。旭川冬まつり、食べマルシェなどの会場で、みなさんをお待ちしています。関連商品は、「道の駅あさひかわ」や「まちなか交流館」、「観光物産情報センター 駅naka」などで入手できます。



あさっぴー (左)・ゆっきりん (右)

技術系学校の先生との懇談会



平成27年7月29日(水)当協会および(社)日本電設工業協会北海道支部共催による技術系学校との懇談会を札幌グランドホテルで開催した。

業界と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くため毎年行っている。

今回は大学1校、専門学校2校、高校4校から7名が出席した。協会からは中野副会長をはじめ5名が出席した。

はじめに中野副会長から電気工事業界の状況にふれ「震災の後、省エネ関連機器で需要が伸び、再生可能エネルギーではメガソーラーが急速に拡大した。一方で、業界が一番頭を抱えている問題は担い手不足。次世代を担う人材の確保育成が非常に重要になってきている。」と開会挨拶した。

協会から主な事業内容を説明。続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査している「平成27年3月卒業生の就職状況」及び「平成27年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年6月に調査した「インターンシップ実施企業調査結果」についての報告と今年度の当協会会員企業の実施計画を説明した。

学校関係者から電気工事業に従事したいと考える生徒・学生が減少傾向にあり、ビルやエレベ-

ーターなどのメンテナンス、情報通信、製造業などに目が向いているという声が続出。「仕事内容が分かりやすい小冊子やパンフレットを作って欲しい」「女子や定時制の優秀な就職希望者にも採用の枠を広げてほしい」などの要望が出された。

これに対して協会から「我々のPRが不足していることが分かった。初任給は高くないが、平均給与は全国的に見ても悪くない。小冊子作りなど検討していきたい」女性に関しては「更衣室、トイレ、セキュリティーなど物理的問題があって、現場代理人としては活用が進んでいないのが現状。少しずつ間口を広げていきたい。定時制の生徒に関しても採用枠拡大に努力していきたい」と理解を求め懇談会を終了した。

[参加校]

北海道科学大学、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、札幌工業高等学校、札幌琴似工業高等学校、室蘭工業高等学校、旭川工業高等学校

技術系学校生徒との現場見学会



平成27年8月4日(火)当協会および(一社)日本電設工業会北海道支部共催による札幌市内の技術系学校生徒との現場見学会を開催した。当日の参加者は札幌科学技術専門学校、札幌工業高校、札幌琴似工業高校の先生2名、学生11名が参加した。

今回の見学現場は改修工事を行っている札幌市屋置スケート場（S造、平屋建、延べ面積3,170㎡）です。

改修電気工事の設備概要は受変電設備、幹線設備、動力・電灯設備などで平成27年4月着手、平成27年10月竣工予定で会員会社の拓北電業(株)が請負、工事が進められている。



当日は9時に協会前をバスで出発し40分くらいで現場事務所到着。拓北電業(株)の宮森取締役工事本部長などから改修工事資料にもとづき概要説明と本日の作業内容、注意事項などの説明を受け工事中のスケート場に向かった。

場内では電気設備施工図の見方や設置機器が図

面どおり設置されている様子、さらに機材の使い方などの説明を受けながら見学会が進められた。

昼食後に今回の見学会に参加した感想などを「参加レポート」に記入して提出してもらった。同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場での仕事ぶりを感じ取る事ができ学生たちにとっては大変有意義なので今後も継続して欲しいと要望された。

生徒から提出されたレポートでは「今まで考えていたイメージと違った」「第2種電気工事士の試験勉強で習った器具などが実際に使われている様子が見られて勉強になった」「普段見る機会のない所を見ることができ良い経験ができた」「来年の就職に向けて、現場の方々からアドバイスをもらえて良かった」「来年実施されたら、後輩にも積極的に参加してほしい」などの感想があった。



～シリーズ～ 「私のいちおし」

拓北電業株式会社

代表取締役社長 鈴木 暁彦



今回は私のお薦めのお店をご紹介します。

モツ鍋と生ラムジンギスカンの店「石鍋亭」です。このお店に私が初めて行ったのが、平成17年ですから、もう10年も経ってしまいました。当時は異業種の会の仲間たちと大勢でよく行って、「ワイワイ、ガヤガヤ」と楽しい時間を過ごしたことが記憶に残っています。



(左) 生ラムジンギスカン (右) もつ鍋

私は知り合いに誘われて札幌の他のモツ鍋店や、博多や広島など、他の地域のお店にも行ったことがあります。「やっぱり、石鍋亭のモツ鍋が一番美味しいなあ～」といつも思っています。

普段、普通に食べなくなった時はもちろんのこと、美味しいモツ鍋や生ラムジンギスカンをあまり食べたことのない人を連れて行ったり、各種集まりの懇親会などで、利用させていただいております。

お薦めメニューですが、当然ながら、モツ鍋と生ラムジンギスカンです。

モツ鍋は醤油ベースの汁の中に、何種類もの牛の内臓の他、ニラ、キャベツ、ニンニクなどが

入っており、シンプルながらも絶妙な味を醸し出しています。

そして是非とも試していただきたいのが、モツ鍋後のラーメンとおじやです。結構、お腹が一杯でも思わず食べてしまう美味しさです。



生ラムジンギスカンは、注文を受けてから、肉のブロックから切り落とします。

とても、柔らかく、ジューシーな味わいです。

その他、お薦めが、チヂミです。韓国風お好み焼きで、海苔に挟んで食べます。

これが本当に美味しく、私は大好きでいつも注文いたします。時間がかかるので早めの注文が必要です。

来店当初から店主の栄 弘子さんには、とても良くしていただいております、我々の仲間の中では親しみを込めて、「かあさん！！」と呼ばせていただいております。

食べて飲んで楽しみ、身体と心に栄養を与える。そんなお店が「石鍋亭」です。

美味しい食事とかあさんに会いに、是非とも、お店に一度お立ち寄り下さい。



私と店主の栄さん

【店 名】：石鍋亭

【住 所】：札幌市中央区南5条西3丁目
ニューススキノビル2階

【電 話】：011-531-4717

【営業時間】：平 日 午後5時30分～午前0時
日・祝 午後5時30分～午後11時

厚生委員会行事報告

平成27年度 野球部会活動報告



会員の皆様いつもお世話になっております。日頃より、野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。

本年度は、7月23日(木)午前9時より「つどむ」にて会社対抗ソフトボール大会を開催致し、今大会で27回目の開催となりました。

今大会の参加チームは去年より1チーム多い、全5チーム（北弘電社、北海電気工事、北電力設備工事、橋本電気工事、企業体チーム）の参加となりました。例年以上に気温と湿度が高いドームでしたが、全チームとも白熱した熱戦を繰り広げて頂きました。

結果、優勝に輝いたのは安定したチーム力で他を寄せ付けない強さを見せた「北弘電社チーム」でした、8連覇達成おめでとうございます。

2年前惜しくも優勝を逃した「企業体チーム」は、リベンジとはならず準優勝でした。3位は「北海電気工事チーム」、4位は「橋本電気工事チーム」、5位は「北電力設備チーム」となり本大会を無事終えました。来年の大会も「北弘電社チーム」が優勝をするのか、それとも連覇を止めるチームが現れるのか楽しみです。

本年度、参加頂いた全チームの皆様大変お疲れ様でした。そして来年度は、企業から1名でも多くの参加、1社でも多くの企業チームの参加を頂き今大会以上の盛り上がりを見せて頂けることを期待しております。

最後に今大会も皆様のご協力によりケガもなく無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会幹事 富樫 亮太（株きんでん）記



優勝 北弘電社チーム



準優勝 企業体チーム

平成27年度 第1回・第2回開催ボウリング部会報告



平成27年度第一回目のボウリング部会が6月26日(金)にノルベサにて行なわれました。

大会開催直前に急遽数名の欠席者が出つつも参加人数は20名。久しぶりの参戦でハッスルされている方もおられました。皆様御多忙の中、ご参加ありがとうございました。

第一回目優勝者は北盛電設(株)の森崎さん。1ゲーム目で168と素晴らしいスコアを出し、2ゲーム目で1ゲーム目を更に超える180を叩き出しダントツの優勝でした。話によると大会前から「今日は優勝を狙う」と強気の発言をしていたそうで。正に有言実行、お見事です！準優勝は1ゲーム153、2ゲームで147のスコアをマークした日本電設工業(株)の佐口さんでした。

続きまして第二回大会が8月21日(金)に行われ、前回は上回る21名が参加いたしました。

優勝は北海電気工事(株)の二宮さん！いぶし銀のプレイで安定したスコア(1ゲーム148、2ゲーム147)を叩き出し、見事栄冠を勝ち取りました。準優勝は拓北電業(株)の本間さん。(1ゲーム122、2ゲーム156)物凄い勢いでピンを弾き飛ばすパワープレイが功を奏しました。

その後、いつもの「北海しゃぶしゃぶ」で美味しい料理とお酒で親交を深めました。

懇親会で長年司会を務めていた私でしたが、今回よりお役御免。第一回目の懇親会では橋本電気工事(株)の細野さん、第二回目では北盛電設(株)の畑さんが司会を務め、各々初めてとは思えない程の

堂々とした仕切りで会場を大いに沸かせておりました。

なお第一回大会で優勝した森崎さんは所用により懇親会欠席だったため、畑さんが優勝者代理として挨拶・受賞しております。

さて、前年度は諸事情により部会長が二人も退任すると言う、おそらくボウリング部会始まって以来の出来事がありました。その結果、若輩ながら私が今年度より部会長を務める事となりました。歴代部会長の意思を受け継ぎ、ボウリングで楽しく汗を流し懇親を深められる場であり続ける様、尽力して行きたいと思っております。

その一つの試みとして、このボウリング部会では前部会長と私で考案した「新ルール」が適用されております。この結果、初心者と上級者の差が縮まり、毎回誰でも優勝を狙える様になっております。この事で皆様の参加意欲がさらに高まり、この部会が大いに盛り上がってくれたら部会長として幸いです。

「どうせ入賞なんて・・・」としばらく参加を敬遠されている方々、この新ルールで改めて腕試ししてみませんか？

次回、第三回ボウリング部会は10月23日(金)に開催されます。幹事一同、皆様の御参加を心よりお待ちしております。

ボウリング部会長

藤井 大樹 (株でんこう) 記

平成27年度第1回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成27年6月26日開催

順位	氏名	1G	2G	10ハンド	合計	会社名
優	森崎 亨一	168	180	19	386	北盛電設(株)
準	佐口 紀浩	153	147	26	352	日本電設工業(株)
1	内田 勝久	130	148	30	338	北海電気工事(株)
2	藤井 大樹	137	146	21	325	(株)でんこう
3	下屋敷 卓	136	124	30	320	末廣屋電機(株)
4	深谷 耕二	129	167	10	316	(株)ユアテック
5	十日市 樹	176	119	10	315	(株)北弘電社
6	嶋津 博	142	131	14	301	島津電設(株)
7	大沼 辰	138	134	14	300	日本電設工業(株)
8	三好 裕一	134	156	2	294	札幌機電工業所(株)
9	内川 勝哉	113	167	6	292	(株)北弘電社
10	畑 千寿代	88	115	40	283	北盛電設(株)
(ハイゲーム賞) 180ピン				森崎 亨一	北盛電設(株)	
(大波賞) 54ピン				内川 勝哉	北弘電社(株)	
(小波賞) 4ピン				二宮 進	北海電気工事(株)	
(ブービー賞)				尾崎 健太	拓北電業(株)	
(ブービーメーカー賞)				川端 雅矢	末廣屋電機(株)	

平成27年度第2回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成27年8月21日開催

順位	氏名	1G	2G	10ハンド	合計	会社名
優	二宮 進	148	147	30	355	北海電気工事(株)
準	本間 美則	122	156	30	338	拓北電業(株)
1	鈴木 雅博	153	135	24	336	振興電気(株)
2	友重 陽介	160	144	7	318	(株)北弘電社
3	小林 勇治	120	156	20	316	三共電気工業(株)
4	菅井 末行	144	122	24	314	旭日電気工業(株)
5	藤井 大樹	129	136	21	307	(株)でんこう
6	深谷 耕二	166	100	16	298	(株)ユアテック
7	森崎 亨一	169	113	5	292	北盛電設(株)
8	三好 裕一	195	87	2	286	札幌機電工業所(株)
9	内川 勝哉	164	103	4	275	(株)北弘電社
10	伊藤 寿教	81	134	30	275	三共電気工業(株)
(ハイゲーム賞) 195ピン				三好 裕一	札幌機電工業所(株)	
(大波賞) 53ピン				伊藤 寿教	三共電気工業(株)	
(小波賞) 1ピン				尾崎 健太	拓北電業(株)	
(ブービー賞)				十日市 樹	(株)北弘電社	
(ブービーメーカー賞)				菊池 大	橋本電気工事(株)	



第1回優勝者 森崎さんの代理 畑さん(右)



第2回優勝者 二宮さん(左)

平成27年度 第3回・第4回ゴルフ部会コンペ成績



第3回優勝者 佐久間さん（右）



第4回優勝者 吉田さん（右）

第3回例会 平成27年7月23日(木) 札幌エルムCC 参加者32名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	佐久間忠信	北明電気	37	37	74	8	66
準優勝	矢田 彰	北弘電社	41	39	80	12	68
3位	山口 勉	山口電気	42	44	86	18	68
4位	浦本 泰男	振興電気	41	45	86	18	68
5位	田口 朋宏	道ジーエス・ユアサ	48	42	90	22	68
6位	脇坂 裕一	北弘電社	40	39	79	10	69
7位	大島 健司	古川電気	49	40	89	20	69
8位	平野 清治	札幌日信電子	41	41	82	11	71
9位	滝澤 秀樹	滝沢電気	47	54	101	30	71
10位	小野寺涼一	大成電気	42	41	83	10	73

(特別賞)

B	G	佐久間忠信 (北明電気)
大波賞		吉田 岳夫 (北海電気)
小波賞		石田 啓二 (山口電気)
B	B	鈴木 嵩典 (浅海電気)
N	P	矢田 彰 (北弘電社)
N	P	脇坂 裕一 (北弘電社)
N	P	平野 清治 (札幌日信電子)
N	P	小野寺涼一 (大成電気)
N	P	桜庭 謙次 (北電力設備)
N	P	庄田 修身 (データ電建)
N	P	奥原 拓郎 (サンテック)

第4回例会 平成27年9月3日(木) 札幌南ゴルフ 参加者30名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	吉田 岳夫	北海電工	39	44	83	14	69
準優勝	赤松 博昭	北陽電材	45	42	87	18	69
3位	大塚 雅史	北盛電設	47	46	93	22	71
4位	桜庭 謙次	北電力設備	40	42	82	8	74
5位	滝沢 英美	サンテック	49	50	99	24	75
6位	松原 一朗	北明電気	42	41	83	7	76
7位	三好 裕一	札幌機電	48	43	91	15	76
8位	滝澤 秀樹	滝沢電気	55	50	105	29	76
9位	平野 清治	札幌日信電子	43	44	87	10	77
10位	石田 啓二	山口電気	43	45	88	11	77

(特別賞)

B	G	桜庭 謙次 (北電力設備)
大波賞		森 等 (石垣電材)
小波賞		小野寺涼一 (大成電気)
B	B	中鉢 征 (三共電気)
N	P	吉田 岳夫 (北海電気)
N	P	赤松 博昭 (北陽電材)
N	P	滝沢 英美 (サンテック)
N	P	桜庭 謙次 (北電力設備)
N	P	松原 一朗 (北明電気)
N	P	吉山 陽一 (道ジーエス)
N	P	川口 誠 (エミヤ)
N	P	渡辺 広史 (東光電気)

業界だより

【法人職務執行者の変更】

(平成27年6月24日付)

○(株)きんでん北海道支社

(新) 執行役員支社長

佐藤 友昭

(旧) 執行役員支社長

岡竹 俊和

(平成27年7月1日付)

○(株)トーエネック北海道支社

(新) 支社長

加藤 祐一

(旧) 支社長

深田 哲

【住所変更】

(平成27年9月14日付)

○末廣屋電機(株)

(新) 〒003-0802

札幌市白石区菊水2条1丁目4番20号

TEL 011-832-5000 FAX 011-832-5007

(旧) 札幌市厚別区大谷地東2丁目4番30号

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成27年8月27日(木) 12:00~13:30

第3回議題

【協議事項】

1. 会員代表者の変更に伴う後任役員候補の選出対応について
2. 平成27年度経営者懇談会の開催について
3. 平成27年度電気設備施設見学会の開催について
4. 「建設産業ふれあい展(仮称)」への参加について

以上提案どおり承認された。

【報告事項】

1. 会員大会の申込状況について
2. (-社)北海道電業協会及び(-社)日本電設工業協会北海道支部の事務所移転に係る貸室申込手続き等について
3. 技術系学校の先生との懇談会並びに生徒との現場見学会の概要報告について
4. 電設協北海道地区賛助会員の代表者変更について
5. 平成27年8~10月行事予定について
6. その他意見交換会

以上概要を報告(小川専務理事)

|| 三 役 会

◇平成27年7月9日(木) 12:00~13:00

第4回議題

1. 技術系学校の先生との懇談会の開催について
2. 技術系学校の生徒との電気設備現場見学会について
3. 平成27年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念行事における後援名義の使用について
4. 北海道の建築工事に係る4団体合同研修会の開催結果について
5. 平成27年度上期本部・支部事務連絡会議の概要報告について
6. 平成27年7月・8月行事予定について
7. その他意見交換会

◇平成27年8月4日(火) 12:00~13:00

第5回議題

1. 本部第261回政策委員会の概要報告
2. 平成27年度電気・空衛連絡協議会及び幹事会並びに平成27年度札幌市都市局との意見交換会の開催について電業協会49回定時総会の進行等について

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 3. 平成27年度北海道赤レンガ建築賞第1回実行委員会の報告について 4. 「建設産業ふれあい展(仮称)」の開催について 5. 尾池一仁氏藍綬褒章受章記念祝賀会のご案内について 6. (一社)北海道建築士会全道大会(紋別)式典・懇親会への出席依頼について 7. 電設協北海道地区賛助会員の代表者変更について 8. 平成27年8月・9月行事予定について 9. その他意見交換 | <ul style="list-style-type: none"> 3. 会報「秋号」の校正について 4. 「建設産業ふれあい展(仮称)」への参加について 5. その他意見交換 |
|--|--|

◇平成27年9月10日(木) 12:00~13:30

第6回議題

- 1. 平成28年度電業協会及び電設協道支部役員会等の日程(案)について
- 2. 電設協平成27年度会員大会懇親会終了後の二次会の開催について
- 3. 電設協平成27年度会員大会の開催準備状況について
- 4. 平成27年9月~10月行事予定について
- 5. その他意見交換

経営委員会

◇平成27年7月22日(水) 12:00~13:00

第2回議題

- 1. 第1回議事録の承認について
- 2. 本部第261回政策委員会の概要報告
- 3. 平成26年度分離発注要請活動集約結果について
- 4. 札幌開発建設部に対する意見・要望について
- 5. その他意見交換

広報委員会

◇平成27年9月16日(水) 15:00~17:00

第2回議題

- 1. 会報「冬号」の編集方針(案)について
- 2. 新春特集について

事務局日誌

- 6月26日(金)・第1回ボウリング部会
ノルベサ
- 7月1日(水)・会員大会旅行担当ミニ実行委員会
(ゴルフ担当)
- 7月2日(木)・本部・支部事務連絡会議
小川専務
- 7月8日(水)・総合補償制度(団体保険)の説明会
かでの2・7
・北海道開発局幹部と建専連北海道地区連合会との意見交換会
小川専務
- 7月9日(木)・第4回三役会議
ナイトバンク
- 7月14日(火)・本部第261回政策委員会
山口理事
- 7月17日(金)・野球部会打合せ
- 7月21日(火)・札幌市電気設備施工研修会
北海道電気会館
- 7月22日(水)・第2回経営委員会
・北海道開発局札幌開発建設部との意見交換会
- 7月23日(木)・第3回 ゴルフコンペ
札幌エルムC.C
・会社対抗ソフトボール つどーむ
- 7月24日(金)・北海道赤レンガ実行委員会
かでの2・7 小川専務
- 7月28日(火)・会員大会本部視察
- 7月29日(水)・技術系学校の先生との懇談会
札幌グランドホテル
- 7月30日(木)・本部第324回運営委員会
大房支部長
・北海道開発局営繕部工事
安全連絡会議
小川専務
- 7月31日(金)・北海道の建築工事に係る合同研修会
ビルメンテナンス会館
- 8月4日(火)・技術系学校の生徒との現場見学会
星置スケート場
・第5回三役会議
- ・会員大会実行委員会全体会議
- 8月5日(水)・電気・空衛連絡協議会幹事会
・札幌市都市局との意見交換会
北海道設備会館会議室
- 8月10日(月)・建設産業ふれあい展(仮称)に係る説明会
小川専務
- 8月21日(金)・第2回ボウリング部会
ノルベサ
- 8月24日(月)・会員大会旅行担当全体会議
・会員大会宿泊担当全体会議
- 8月27日(木)・第3回理事会・常議員会
- 8月28日(金)・第2回歌唱部会
- 8月31日(月)・会員大会総括担当ミニ実行委員
- 9月2日(水)・「公共建築の日」のスタッフ会議
第一合同庁舎
- 9月3日(木)・第4回ゴルフコンペ
札幌南GC
- 9月4日(金)・本部第325回運営委員会
大房支部長
- 9月10日(木)・第6回三役会議
・会員大会運営本部、3実行委員会合同会議
- 9月11日(金)・営業マンソフトボール大会
リゾート札幌
- 9月14日(月)・電気工事施工管理技士(1級実地)受験準備講習会
北海道開発協会会議室
- 9月15日(火)・電気設備見学会
苫小牧CCS
・本部第262回政策委員会
山口理事
- 9月16日(水)・第2回広報委員会
- 9月17日(木)・本部第326回運営委員会・理事会
大房支部長

編集後記

会報の秋号をお届けします。

ちょうどこの会報が皆様のお手元に着く頃、10月1日の（一社）日本電設工業協会の会員大会が、札幌グランドホテルで開催されています。編集作業の横で、実行委員になっている会員が、最後の最終チェックなどに飛び回っています。会員大会、懇親会、旅行、ゴルフなどが無事に終了し、（一社）北海道電業協会のおもてなしの気持ちが参加者に伝わることを確信しております。

さて、本号をご覧になって、すこしさみしく感じた方もいらっしゃるかもしれませんが。今迄の各号にあった、巻頭言と久住邦晴氏の「ビジネスマンはこれを読め」の記事が掲載されておられません。巻頭言は諸般の事情による休載で、久住邦晴氏は久住書房の事情による急遽の断筆であります。さみしく感じた方にはお詫び申し上げます。

次号以降、久住氏に代わる新しいコーナーを設けるべく、広報委員会で検討しておりますので、お許し下さい。

広報委員長 萩本 哲夫



発行 平成27年10月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp